TOTO

フロアキャビネット

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り付けをすると、 ● 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り付けをすると、 ● 人が傷害を負う可能性が想定される内容 ● 物的損害の発生が想定される内容 を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

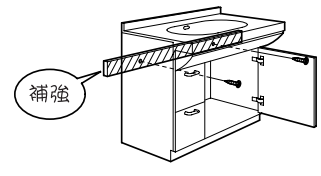
🛇	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠警告

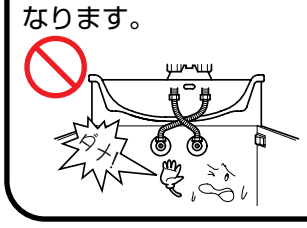
壁固定ねじ取付位置に木さんを入れて補強してください

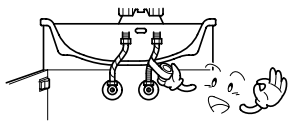
キャビネットが転倒し、ケガをする原因になります。

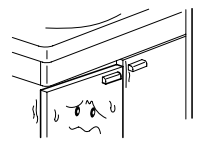


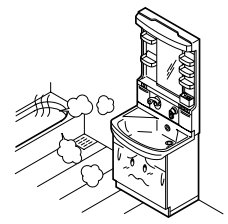
⚠注意

湯・水を逆に配管しないでください	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください	工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認してください	工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認してください	カウンター・洗面器の上に乗らないでください	浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください
水側でいきなり湯が出て、火傷をする原因になります。	凍結破損で漏水し家財などに損害を与える原因になります。	漏水を起こすと、家財などに損害を与える原因になります。	使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。	故障及び転落・転倒してケガの原因になります。	木部が膨潤する原因になります。



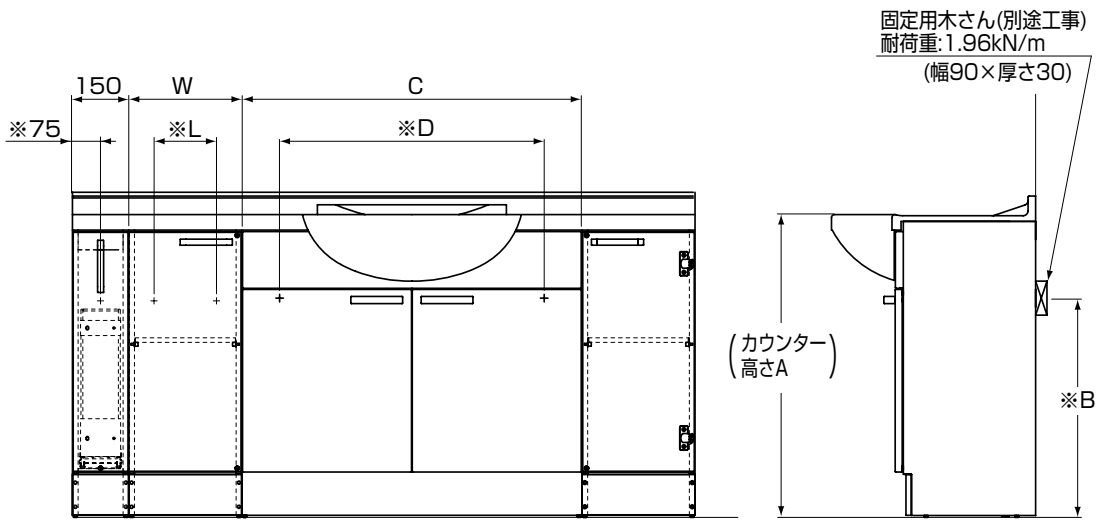






☆工事寸法

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 給水・給湯・排水位置は、承認図を確認してください。
- ※印の寸法は木ねじ位置を示します。



W	300	450	600
L	100	250	400

カウンター高さA	750	800
B	530	580

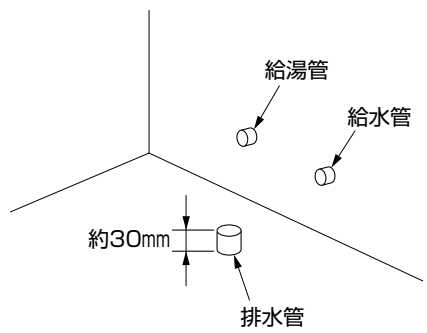
C	750	800	850	900	950	1000	1050	1100	1150	1200
D	550	600	650	700	750	800	850	900	950	1000

☆設置上の注意

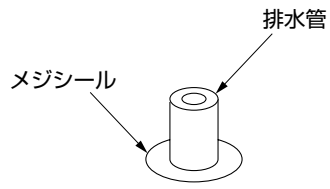
- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。
  特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。

☆取付前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。
  (壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、前面に厚み12mm以上のJAS規格の板を強固に取り付けてください。)
- 前板や扉、幕板には傷付き防止用に保護シートがついている製品があります。
  取り付けを始める前に必ずはがしてください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。
  (排水管はVU40、VU50またはVP40、VP50をご使用ください。)
- 化粧台に給水・給湯穴(φ52×2)、排水穴(φ90)を穴あけしてください。

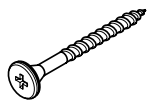
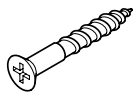
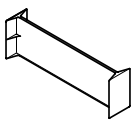
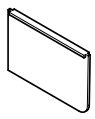
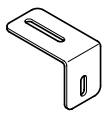
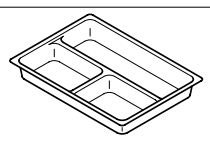
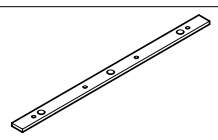
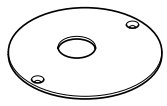
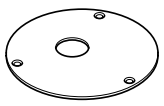
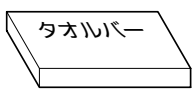


※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすきまがある場合は、メジシールでシールしてください。



☆付属部品明細　LBX150～1201（フロアキャビネット）

● フロアキャビネット

		フロアキャビネット								洗面器用フロアキャビネット				
		150サイズ		300サイズ	450サイズ			600サイズ		750～1200サイズ	750～1200サイズ	751～951サイズ	1001～1201サイズ	750～1200サイズ
		MS01・MSG1タイプ	MS03・MS05・MSG5タイプ	扉・引出タイプ	扉タイプ	引出しタイプ	アクリル扉タイプ	スツールタイプ MS01・MSG1タイプ	スツールタイプ MS03・MS05・MSG5タイプ	MS01・MSG1タイプ	MS03・MS05・MSG5タイプ	ストックカーゴタイプ MS03・MS05 MSG5タイプ		タオルバー付 MS01・MSG1タイプ
壁固定用木ねじ（φ5.2×55）		1本	1本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本
連結用木ねじ（φ3.1×25）		2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本
カウンター固定用木ねじ（φ4.5×14）		2本	2本	4本	4本	4本	4本	4本	4本	8本	4本	4本	4本	8本
化粧キャップ		1個	1個	2個	2個	2個	2個	2個	2個	2個	2個	2個	2個	2個
仕切		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4個	8個	—
仕切板		2枚	2枚	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アングル		—	—	2個	2個	2個	2個	2個	2個	4個	2個	2個	2個	4個
トレイ		—	—	—	—	—	—	2個	2個	—	—	—	—	—
ベース板		—	—	—	—	—	—	2枚	2枚	—	—	—	—	—
ベース板固定用ねじ		—	—	—	—	—	—	6本	8本	—	—	—	—	—
ねじ付ダボ		—	—	—	—	—	—	6本	8本	—	—	—	—	—
給水ふた		—	—	—	—	—	—	—	—	2個	2個	2個	2個	2個
排水ふた		—	—	—	—	—	—	—	—	1個	1個	1個	1個	1個
防臭栓		—	—	—	—	—	—	—	—	1個	1個	1個	1個	1個
給排水ふた用木ねじ（φ3×12）		—	—	—	—	—	—	—	—	7本	7本	7本	7本	7本
タオルバー一式		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1箱
取扱説明書		—	—	—	—	—	—	—	—	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊

● エンドスペーサー　LFX30B

固定用木ねじ（φ3.5×13）	5本

☆取付手順（番号順に取り付けてください。）

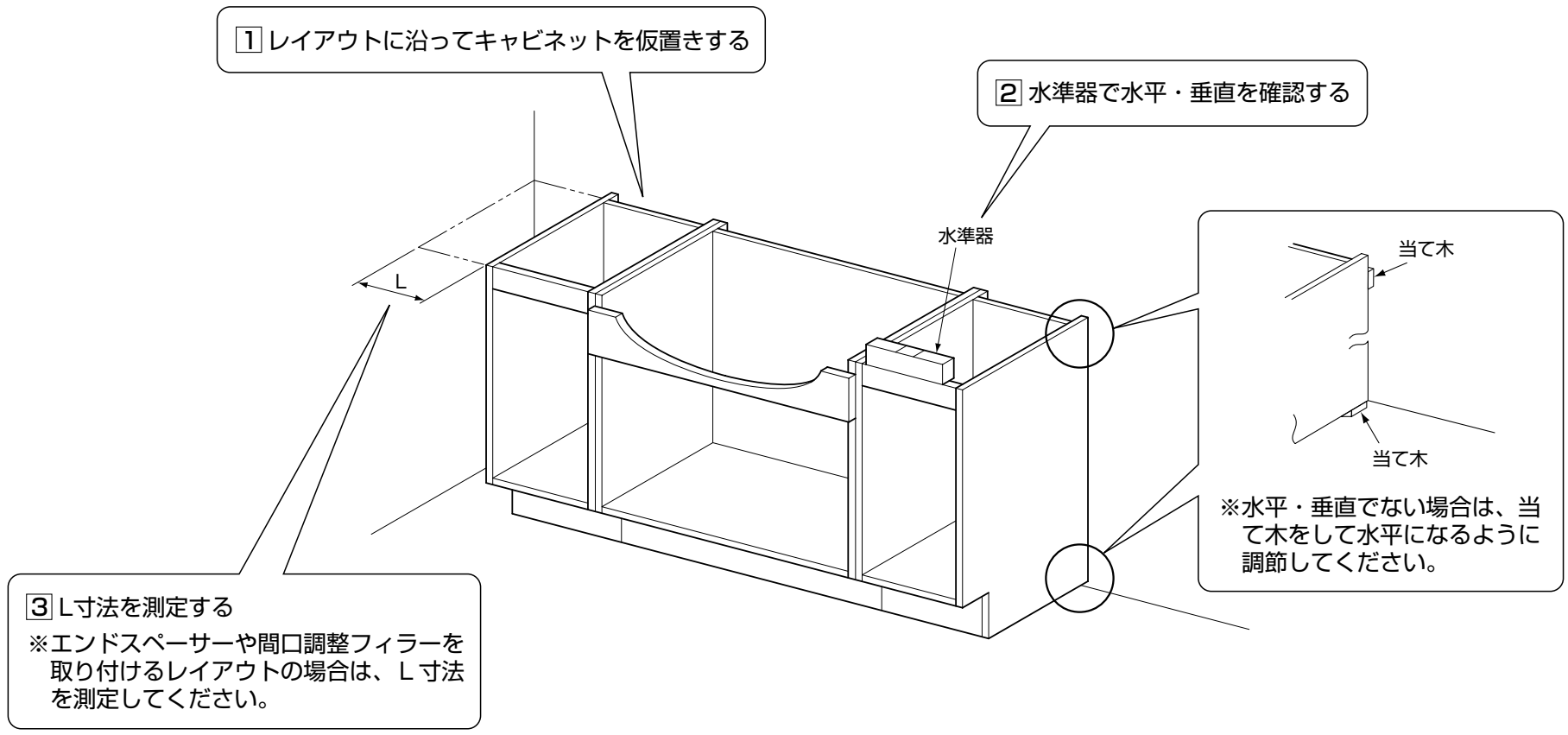
※タイル・コンクリート壁の場合は、現物にあわせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。
（プラグ用の下穴は必ず使用しているプラグ指定のドリル径であけてください。）
※木ねじで固定するときは、下穴を設けてください。

①引出し・スライドラックを取り外す

- 引出し・スライドラックタイプは、あらかじめ製品より取り外しておいてください。
（製品に張り付けてある取り外し・取り付け要領のラベルを参照してください。）

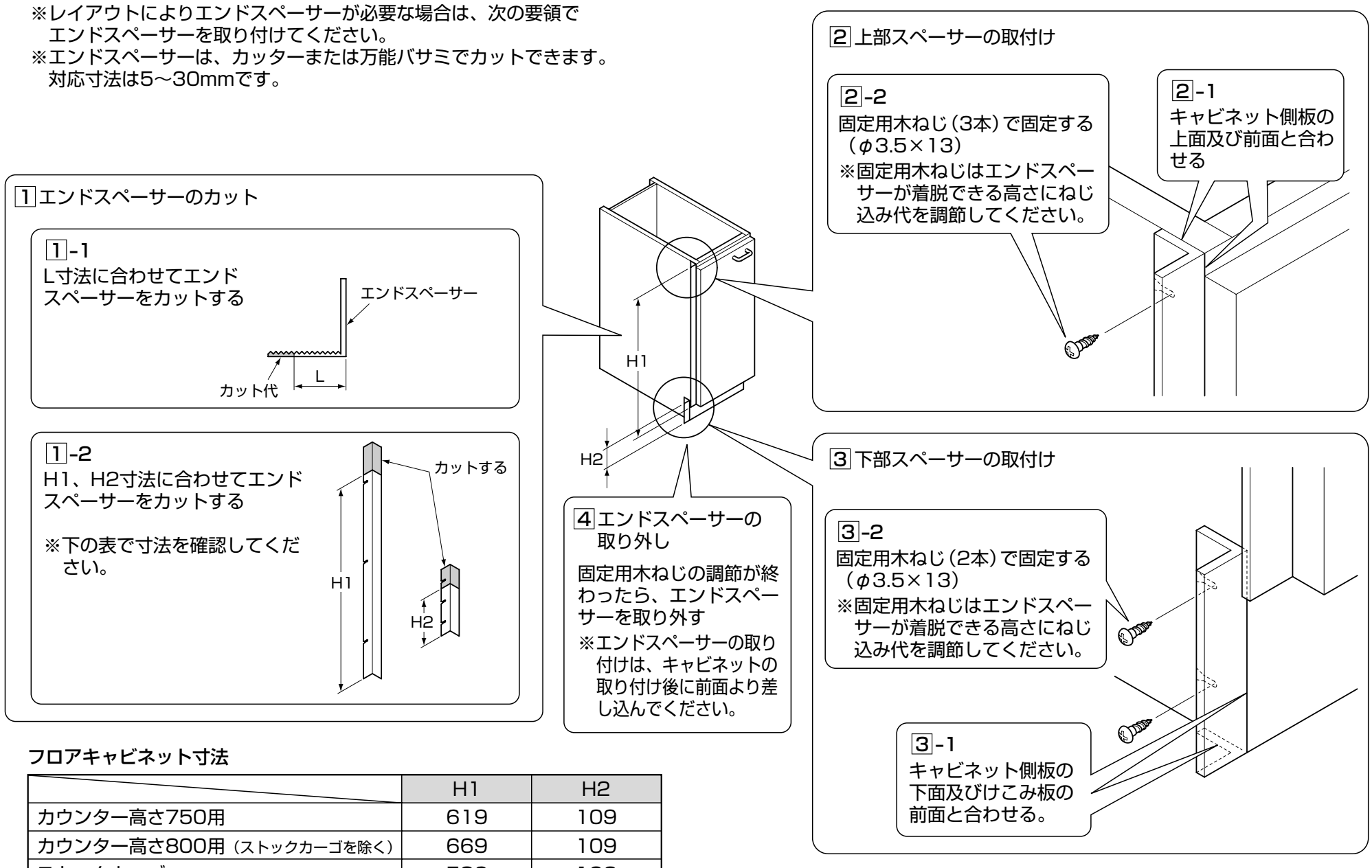
※施工完了後は、引出し・スライドラックを取り付けてください。

②キャビネットの仮置き



③エンドスペーサーの取り付け

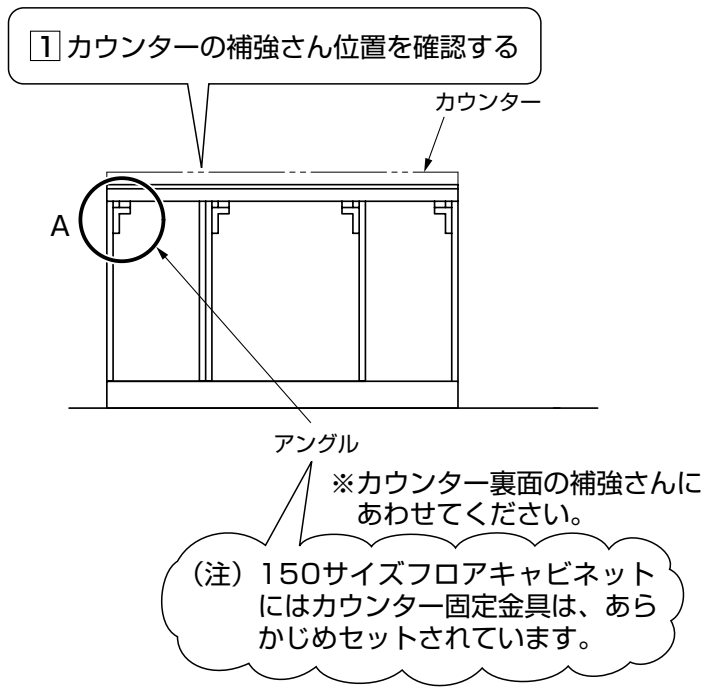
※レイアウトによりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領でエンドスペーサーを取り付けてください。
※エンドスペーサーは、カッターまたは万能バサミでカットできます。
対応寸法は5～30mmです。

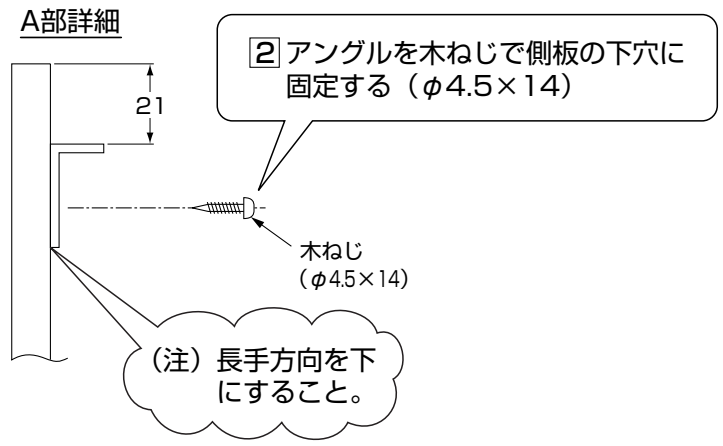


フロアキャビネット寸法

	H1	H2
カウンター高さ750用	619	109
カウンター高さ800用（ストックカーゴを除く）	669	109
ストックカーゴ	586	192

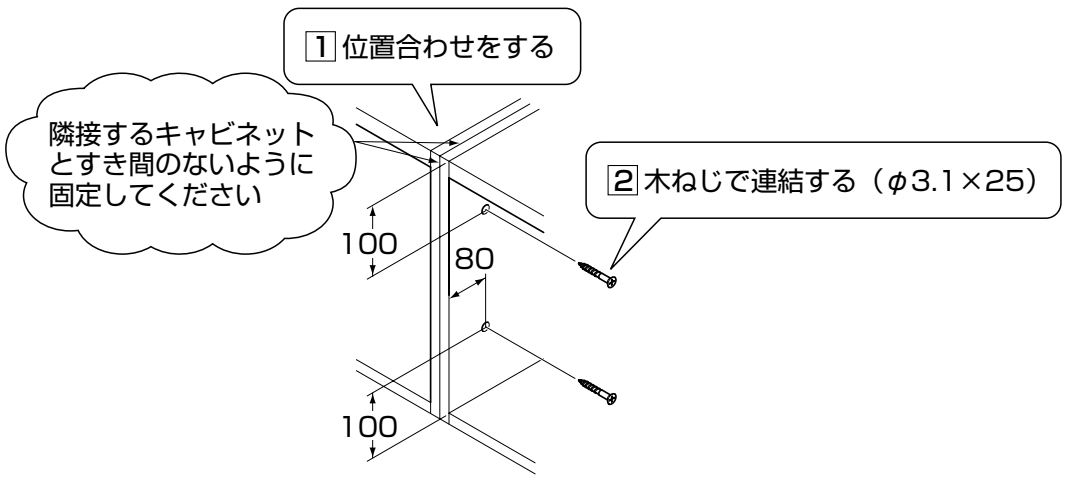
④アングルの取り付け

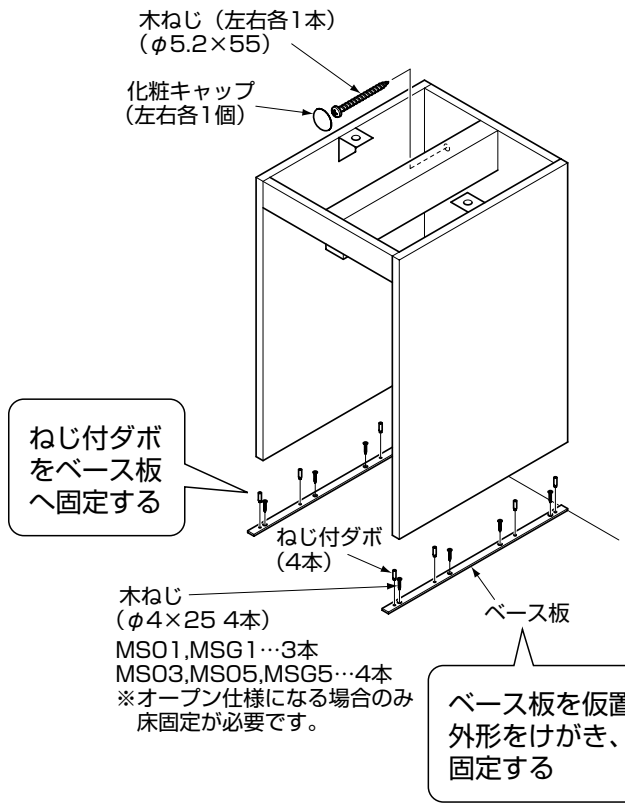


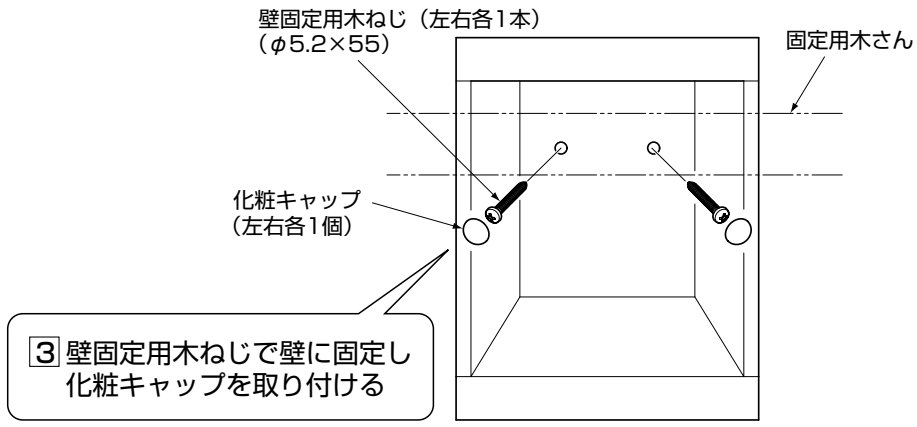


※MS01, MSG1タイプの洗面器用フロアキャビネットのアングルは4個となっています。

⑤キャビネットの取り付け

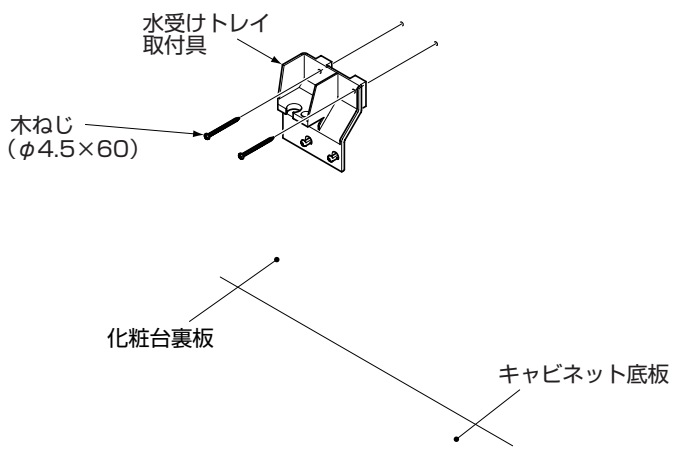






⑥水受けトレイ取付具の固定（シャンプータイプのみ）

- 裏板の下穴に合わせて水受けトレイを取り付けてください。
※キャビネット仕様のとき、スペーサーは不要です。



⑦排水金具の取り付け（洗面ボウル一体タイプを除く）

- 排水金具の取り付けについては、排水金具に同梱されている「施工説明書」を参照してください。

⑧洗面器の取り付け（洗面ボウル一体タイプを除く）

- 洗面器の取り付けについては、カウンターに同梱されている「施工説明書」を参照してください。

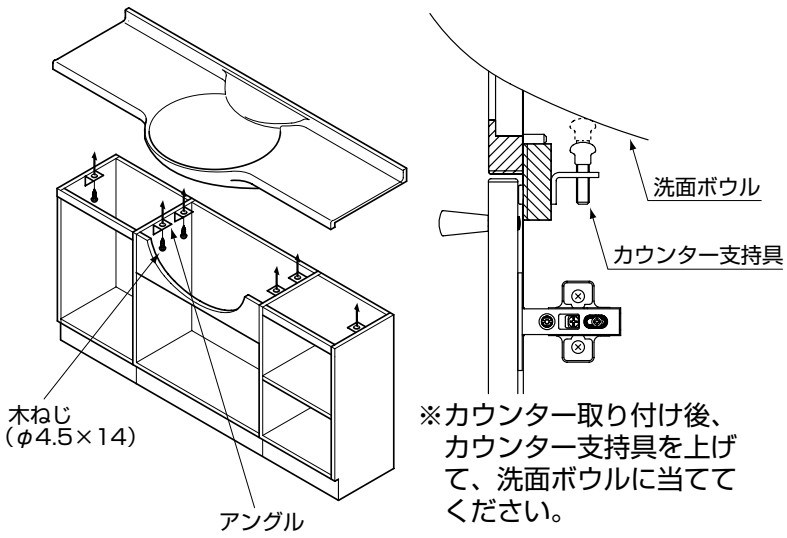
裏面に続く

⑨カウンターの取り付け

- カウンターを設置し、フロアキャビネット内側から木ねじ（フロアキャビネットに付属しています）で固定してください。
- 連結板がつく場合は、支持金具をカウンターと壁の間に差し込んでカウンターを固定します。

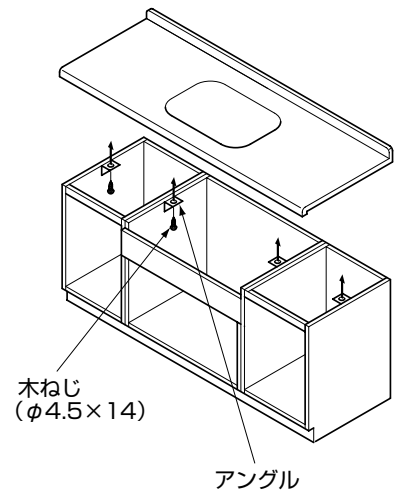
（注）カウンターの上に連結板や化粧鏡がつくレイアウトのときは、カウンターを固定する前に連結板を固定してください。

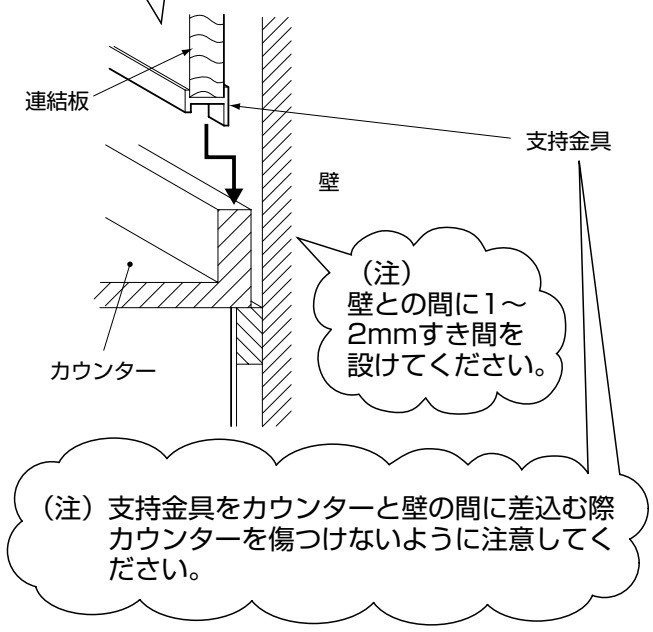
MSG1，MS01タイプ



※カウンター取り付け後、カウンター支持具を上げて、洗面ボウルに当ててください。

MS03，MSG5，MS05タイプ

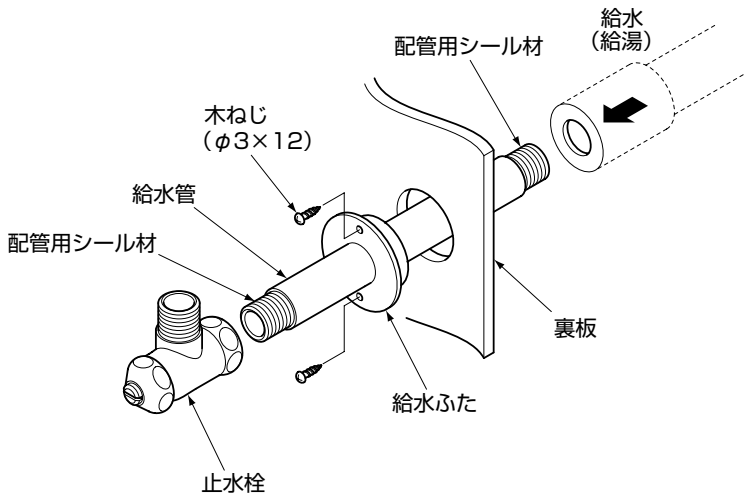




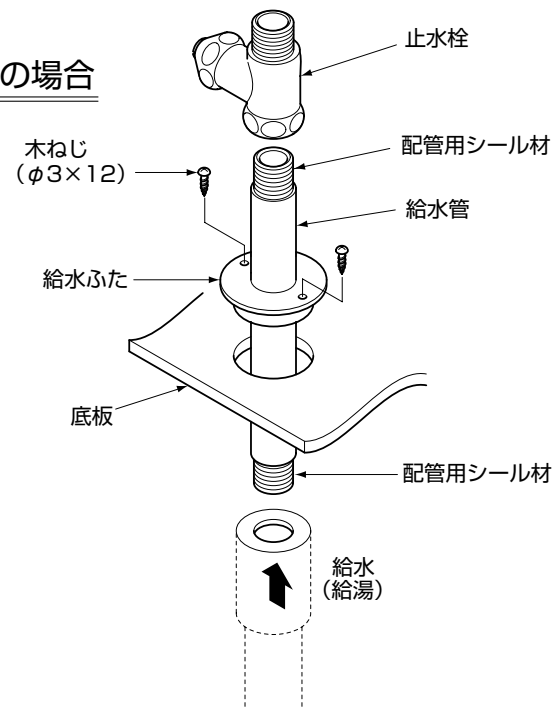
⑩止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で十分に締め付けてください。
- 配管王対応は、TSA4BKX＊＊＊に同梱の施工説明書を参照してください。

壁給水の場合



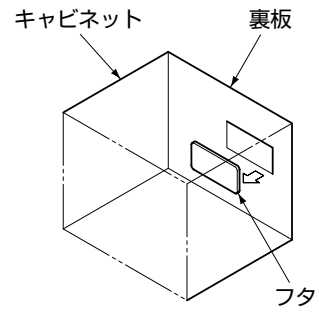
床給水の場合



⑪水栓金具の取り付け

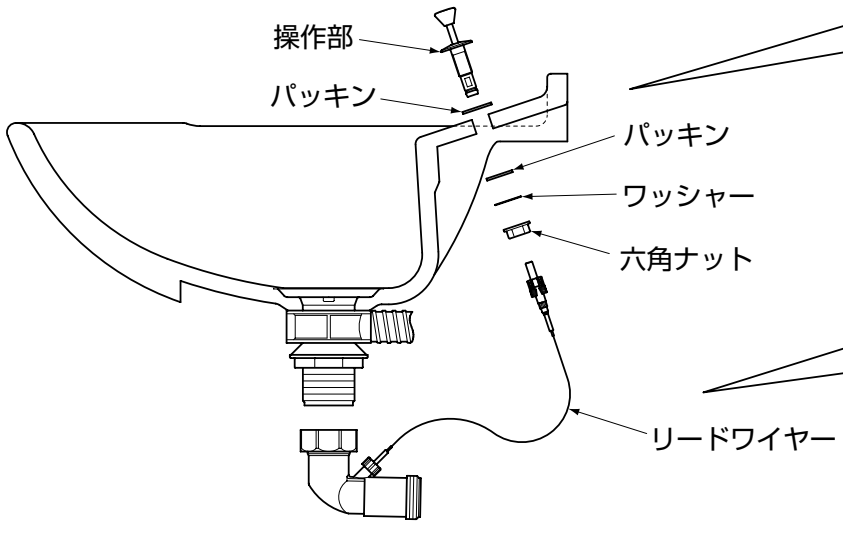
- 水栓金具の取り付けについては、水栓金具に同梱されている施工説明書をご参照ください。

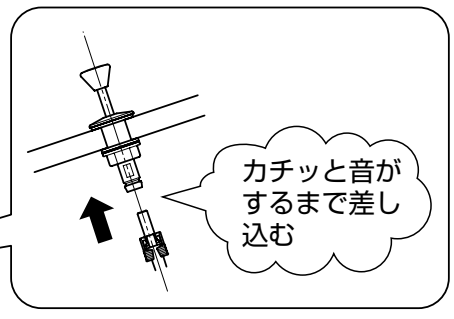
※シャンプー水栓（サーモタイプ）の場合は、キャビネット内側の裏板についている樹脂製のフタを外して水栓金具を取り付けてください。

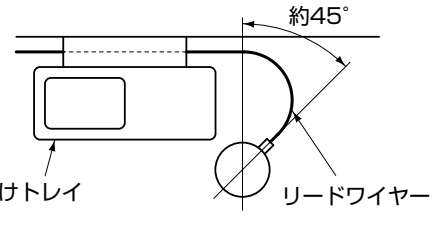
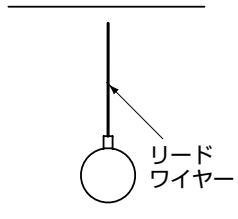


⑫排水金具の取り付け（洗面ボウル一体タイプのみ）

- 排水金具の取り付けについては、排水金具に同梱されている「施工説明書」をご参照ください。
- レバーを下側いっぱいに下げ、引棒を図のように接続します。
  引棒を上下に作動させたとき、排水栓がスムーズに動くか確認してください。
- ナットを確実に締めます。



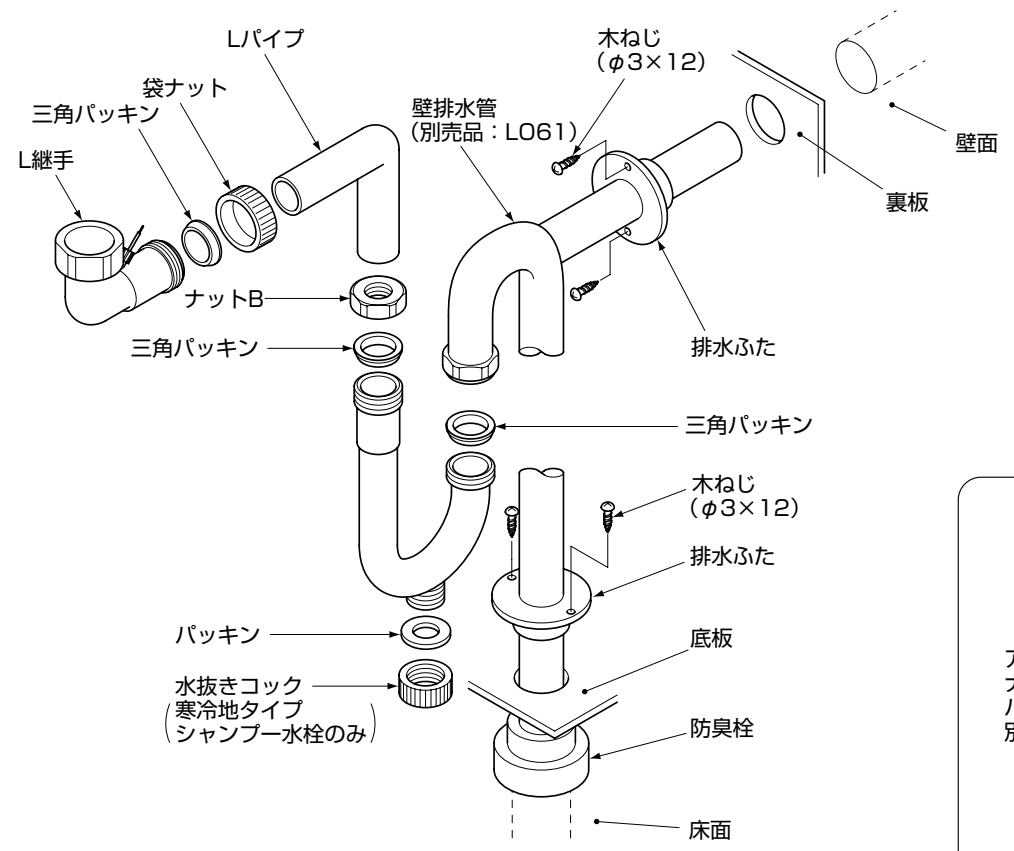


シャンプー水栓	シングルレバー水栓
	
リードワイヤーの向きは中心より約45°ふり、水受けトレイの後ろ側を通るようにしてください。	リードワイヤーの向きは真後ろに向けてください。

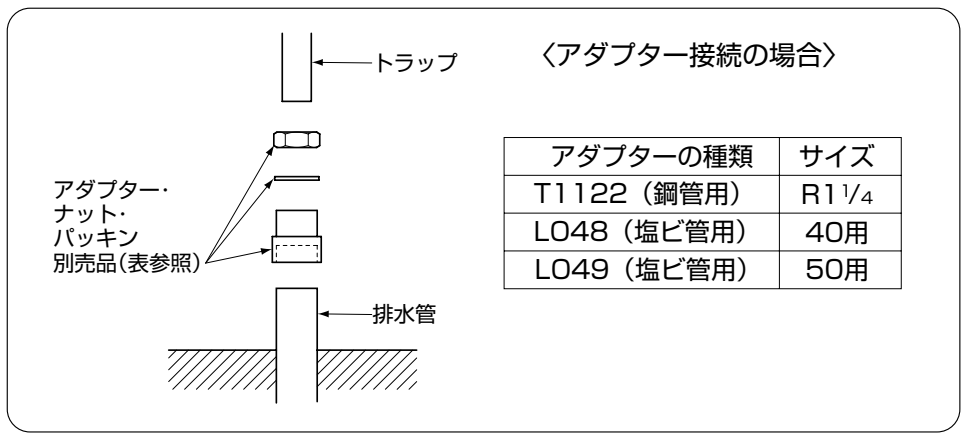
⑬排水トラップの取り付け

- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込みます。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプタ（下表）で確実に接合します。

※樹脂製ナットは手で確実に締めてください。



〈樹脂製排水トラップの場合〉

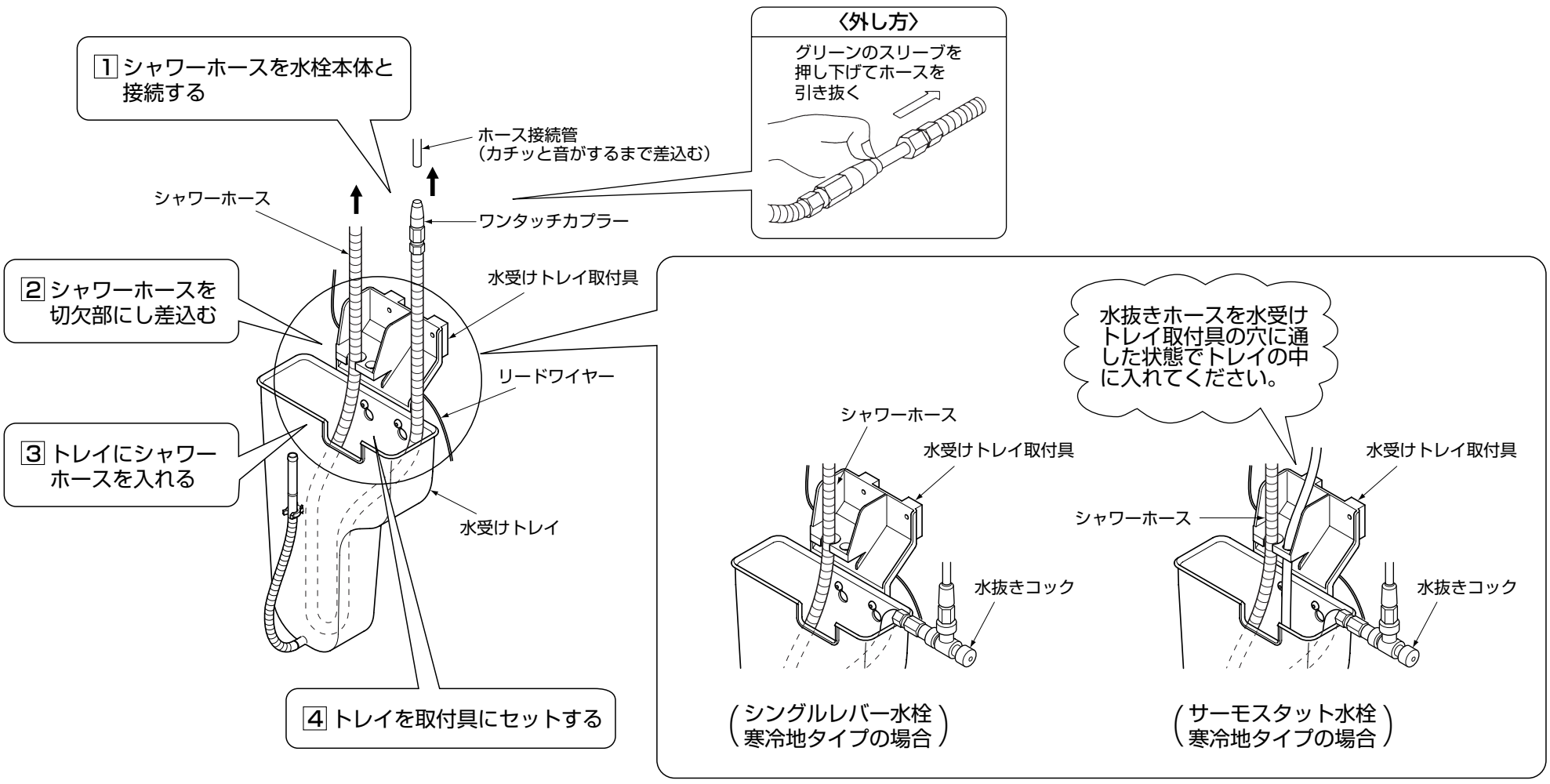


〈アダプター接続の場合〉

アダプターの種類	サイズ
T1122（鋼管用）	R1 1/4
L048（塩ビ管用）	40用
L049（塩ビ管用）	50用

⑭水受けトレイの取り付け（シャンプータイプのみ）

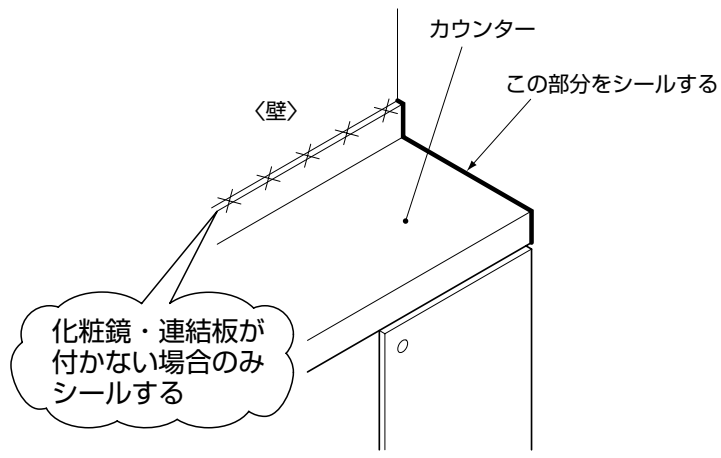
- 水受けトレイを取り付けてください。



⑮壁やミドルキャビネットとの処理方法

- カウンターと壁の突き合わせ部をメジシールにてシールします。

（白　－YG902S
透明－YG903S）

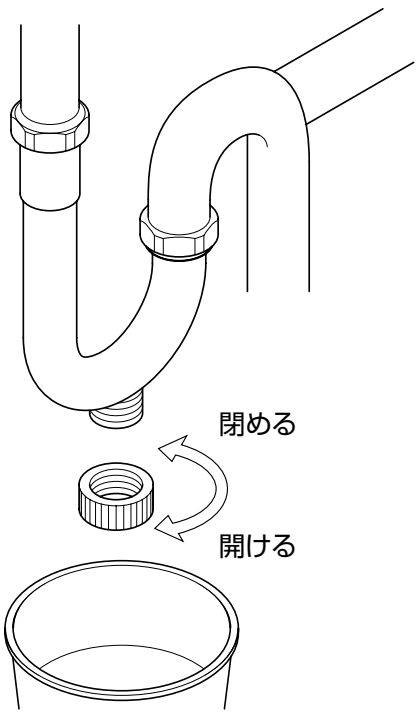


☆寒冷地タイプについて

水栓金具の水抜きを行ってください。

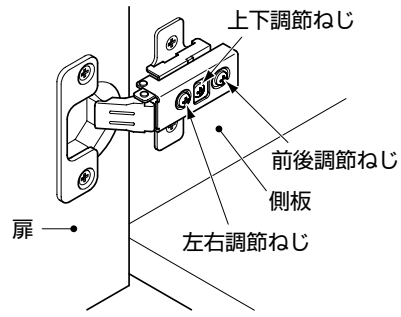
- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けています。
  （注）水抜きコックは必ず手で締めてください。工具を使用すると破損するおそれがあります。
  別途設備された水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。
  また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

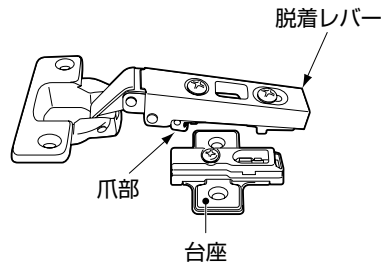
樹脂製排水トラップの場合



☆扉の着脱・調整方法

■各部の名称

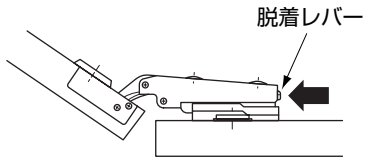




■扉の着脱方法

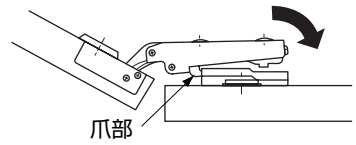
●外し方

本体後端の本体脱着レバーを矢印の方向に押し込みながら、本体後端部を持ち上げてください。



●取付方

丁番先端の爪部に台座の先端を合わせはめ込み、カチッと、はまるまで本体後端部を押し下げます。

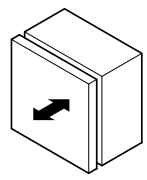


※本体がきちんと台座に装着されているか確認してください。

■扉の調整方法

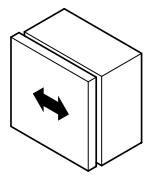
前後調節

前後調節ねじを緩め、扉を前後に動かし、適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



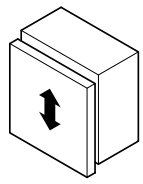
左右調節

左右調節ねじを左右に回して、適当な位置を選んでください。



上下調節

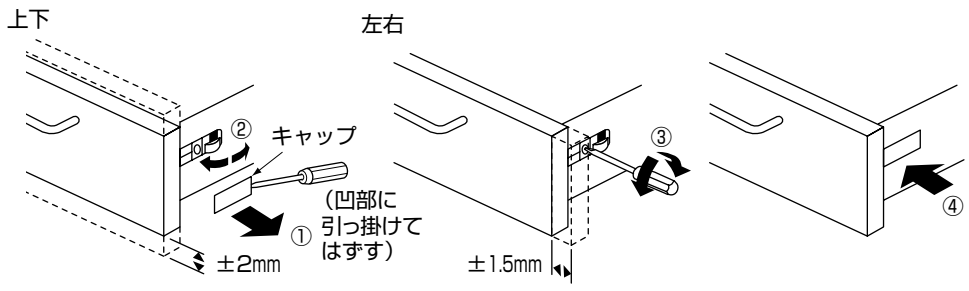
上下調節ねじを緩め、扉を上下に動かし、適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



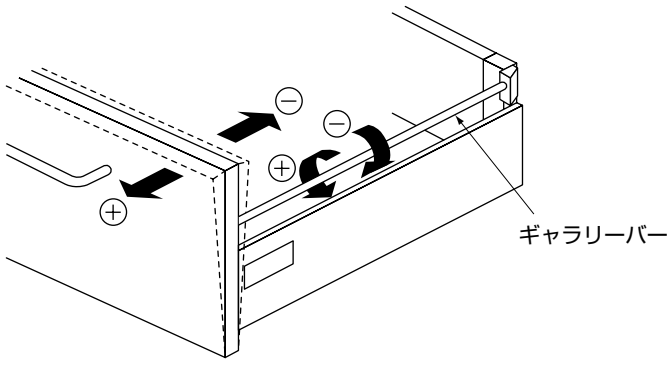
☆引出し前板の調整方法（ストックカーゴタイプ）

その他の引出しの調整方法は、製品に張り付けてあるラベルを参照してください。

- 引出しの上下左右調整
  ①引出し側面のキャップを外して、調整してください。
  ②上下は両端のダイヤルで±2㎜調整できます。
  ③左右は引出し右側のねじで±1.5㎜調整できます。
  ④前板の調整が終わったら必ずキャップを戻してください。



- 引出しの角度調整
  前板の角度調整はギャラリーバーを回転させて調整してください。



☆取付完了後の確認と清掃

- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。
- 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
  シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。